

# 身のまわりのリスクとその備えについて学ぼう

日々の生活には、さまざまなリスクがあります。どのようなリスクがあるかをきちんと認識し、それに備えておくことが大切です。

## 1 暮らしの中のリスクを考えてみよう

■交通事故や火災は、いつ誰の身に起きてても不思議はありません。

Q1 次の事故や火災の発生する確率を選択肢から選び、記号で答えましょう。

- ① 自転車事故の発生確率 ( )
- ② 自動車事故の発生確率 ( )
- ③ 火災の発生確率 ( )

《 ア. 約15分に1件    イ. 約8分に1件    ウ. 約2分に1件 》

損害保険は、過去の事故・災害データをもとに保険料（掛け金）を算出しています。

## 2 暮らしの中のリスクに備えるために

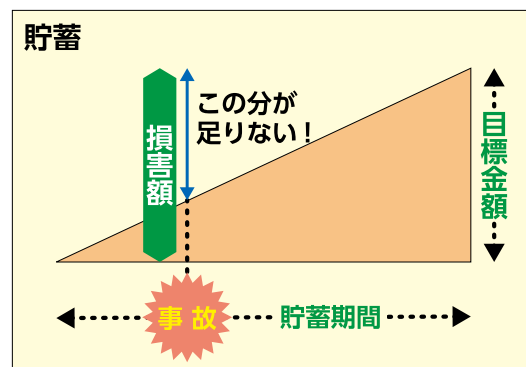
■毎日の家計を計画的に管理するためには、長期的な生活設計とともに、生活の中で予期しない事態に備えることが必要となります。

Q2 もしもの時に必要なお金は、どのように備えるのが効果的でしょうか。当てはまる番号を選びましょう。

- ① 貯蓄をする    ② 宝くじを購入する    ③ 保険に加入する ( )

保険はみんなでお金を出しあい、誰かが事故に遭ったときは、その出しあったお金から補償されるしくみです。

### ■貯蓄と保険の違い



●貯蓄は事故や災害が起きた時に、十分な資金を準備できているとは限らない。



●保険は保険期間を通じて、必要な資金を準備することができる。

## 3 暮らしの中のリスクと保険

■保険は社会保険（健康保険・介護保険・年金保険・労災保険）と民間保険に分類されます。民間保険は人の死亡や老後の生活費などに備える「生命保険」と、事故や災害による損害などに備える「損害保険」に分類されます。なお、ケガや病気などのリスクは、生命保険と損害保険のどちらでも補償されます。

Q3 私たちの暮らしには、多くのリスクが潜んでいます。これらのリスクによる経済的損失には、保険で備えることができます。次のリスクへの備えとして適切な保険を選択肢から選び、記号で答えましょう。

- ① クラブ活動中誤って転倒し、足を骨折してしまった。 ( )
- ② 自損事故（単独事故）で、自分の自動車を壊してしまった。 ( )
- ③ 住宅ローンを払っている途中で、親が不慮の事故で亡くなり、ローンの残額を支払うことができなくなってしまった。 ( )

《 ア. 生命保険    イ. 損害保険    ウ. 生命保険と損害保険 》

### ■生命保険と損害保険

生命保険	【両方で取り扱える】	損害保険
・死亡保険 ・個人年金保険 など	・傷害保険 ・医療保険 ・がん保険 ・介護保険 など	・火災保険 ・地震保険 ・自賠責保険 ・自動車保険 ・個人賠償責任保険 など

### ■いろいろな損害保険

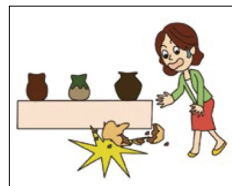
	名称	概要
くるまの保険	ア. 自賠責保険	自動車事故により他人を死傷させた場合の損害に備える保険（すべての自動車・バイクに加入が義務付けられている）
	イ. 自動車保険	自動車事故による以下の損害に備える保険 ①他人を死傷させた場合の損害 ②他人の自動車や建物などを壊してしまった場合の損害 ③自分のケガ ④自分の自動車の損害
すまいの保険	ウ. 火災保険	建物・家財の火災、台風や洪水といった自然災害（地震・噴火・津波を除く）などによる損害に備える保険
	エ. 地震保険	建物・家財の地震・噴火・津波による損害に備える保険
からだの保険	オ. 傷害保険	ケガのリスクに備える保険（病気は補償しない）
	カ. 医療保険	ケガや病気のリスクに備える保険
レジャーの保険	キ. 海外旅行保険	海外旅行中のケガや病気、携行品損害、賠償損害、捜索救助費用などさまざまなリスクに備える保険
	ク. 国内旅行傷害保険	国内旅行中のケガ、携行品損害、賠償損害、捜索救助費用などさまざまなリスクに備える保険（病気は補償しない）
その他	ケ. 個人賠償責任保険	日常生活において他人に損害を与えてしまった場合の損害賠償に備える保険
	コ. ペット保険	ペットのケガや病気のリスクに備える保険 ※ペットには健康保険等がないため、原則、治療費は飼い主が全額負担

## 4 他人に迷惑をかけたしまった…

■私たちは、日常生活の中で被害に遭うだけでなく、「他人に迷惑をかけてしまい、損害を賠償しなくてはならない場面」に直面する場合があります。

Q4 次のケースの中で、損害賠償責任を負わなくてはならない可能性があるものを選びましょう。

- ① お店で、代金を支払う前に商品を落とし、壊した。
- ② 飼い犬を散歩中、飼い犬が他人の人に噛みついてケガをさせた。
- ③ 公園で、自分の携帯電話を落とし、壊した。
- ④ 野球のバットを振っていたら、そばにいた人にケガをさせた。
- ⑤ 誤ってベランダから鉢植えを落とし、他人の車の車にキズをつけた。



( )

他人の身体や財産を傷つけたら、損害を賠償しなくてはなりません。この「賠償しなくてはならない責任」のことを法律上「損害賠償責任」といいます。

## 5 自転車に乗っていて歩行者にケガをさせてしまった…

■自転車に乗っていて歩行者とぶつかりケガをさせてしまった場合にも、損害賠償責任が発生します。

Q5 自転車に乗っていて歩行者にケガをさせてしまった場合、次の費用のうち負担しなければならない費用を選びましょう。

- ① ケガの治療費
- ② ケガで入院している間、働けなかったため減ってしまった収入
- ③ 障がいが残る、働けなくなってしまった場合、その人が得られたかもしれない収入
- ④ 通院のための交通費



( )

Q6 次の事例で加害者の高校生が負担を求められたであろう損害賠償額はどの程度だと考えられますか。当てはまる番号を選びましょう。

■事例：高校生が昼間、自転車横断帯のかなり手前の歩道から、車道を斜めに横断しました。対向車線を自転車で直進してきた会社員と衝突して、会社員には重大な障害が残りました。

- ① 数十万円程度（家族で海外旅行に行くために必要な金額）
- ② 数百万円程度（自動車1台程度の金額）
- ③ 数千万円程度（家1軒程度の金額）

( )

法律上、自転車は車両の一種です。法律違反をして事故を起こせば、損害賠償責任（民事上の責任）のほか、法律により処罰（刑事上の責任）されます。

## 6 未来のあなたのために…

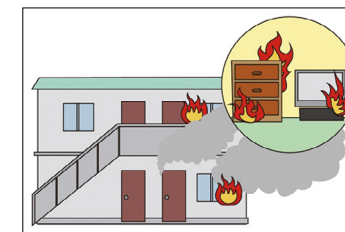
■高校卒業後、皆さんは進学や就職をして、一人暮らしを始めるかもしれません。また、自動車運転免許証を取得して車に乗ったり、友達と海外旅行に行くことがあるかもしれません。新しい生活は、期待に満ち溢れている一方で、新たなそして大きなリスクを伴うことがあります。ここでは、新生活に関するリスクについて確認しましょう。

Q7 あなたは旅行先のハワイ（ホノルル）で虫垂炎（ちゅうすいえん盲腸炎）になってしまいました。現地の医療機関で手術をすることになった場合、医療費はどれくらいかかるでしょうか。当てはまる番号を選びましょう。

- ① 数十万円程度（家族で海外旅行に行くために必要な金額）
- ② 数百万円程度（自動車1台程度の金額）
- ③ 数千万円程度（家1軒程度の金額）

Q8 あなたが一人暮らしを始めたアパートで、隣の部屋からのもらい火（るいしょう類焼）により、タンスと液晶テレビが燃えてしまいました。隣の人に賠償してもらえるものを選びましょう。

- ① タンスと液晶テレビ
- ② タンス
- ③ 液晶テレビ
- ④ いずれも賠償してもらえない



( )

Q9 あなたはドライブ中によそ見をして前の車に追突しました。幸い相手にケガはありませんでしたが、相手の車に大きなキズをつけてしまいました。あなたは自賠責保険のみに加入しています。相手への賠償について、正しいと思う番号を選びましょう。

- ① 自賠責保険で補償される
- ② 自賠責保険では補償されない
- ③ そもそも賠償責任が発生しない

( )

金融商品というと、通常、貯蓄や株などの「資産形成」を思い浮かべますが、損害保険の機能は「資産保全」です。すなわち損害保険は、皆さんが購入した資産などについて、事故や災害により被った損害を補償する経済的な備えです。損害保険は、万一の際の備えとして合理的なしくみですが、保険は目に見えない商品であり、事故後に保険会社からの損害サービスの提供を受けて、初めて具現化するという特徴があります。

そのため、日ごろからリスクへの認識を高めるとともに、経済的な備えに関する情報を正しく理解し、自らが主体的に判断して、どのリスクに備える必要があるかを考え、適切な保険を選択することが重要です。